

生産性向上委員会（TFPコミッティー）発足のお知らせ

※TFP(total factor productivity):全要素生産性。成長会計の一概念で、産出量と資本・労働・技術の3要素の投入量の関係を示す指標。長期的には技術進歩を反映する。

全国段ボール工業組合連合会(以下：全段連、理事長：大坪 清)は、このたび下記の通り『生産性向上委員会（TFPコミッティー）』を発足し、その第1回会合を、去る11月21日に行いましたのでお知らせいたします。

TFPコミッティーは、わが国経済の再生に向けたアベノミクス第3の矢である、成長戦略の中心的課題である、全要素生産性（TFP）の向上を見据え、段ボール業界においても、その実現に向けて取り組んでいこうというものです。

段ボールは、環境に優しいパッケージとして、輸送には欠かせない包装材ですが、当業界では、長時間労働が常態化しており、賃金を含めた労働諸条件の改善により、人手不足への対処のみならず、若者が夢を持って働き続けられる産業としての、あるべき姿を追究してまいります。

記

1. 委員会名称 生産性向上委員会（TFPコミッティー）
2. 正副委員長及び組合側委員

委員長	石田重親（レンゴー株式会社取締役兼常務執行役員）
副委員長	三部廣美（レンゴー株式会社取締役兼常務執行役員）
	栗原由行（株式会社トーモク 取締役総務部長）
組合側委員	小林伸吉（日本紙加工産業労働組合協議会議長）
	室谷哲郎（日本紙加工産業労働組合協議会事務局長）
3. 取組み内容
 - ・啓発活動、事例紹介
 - ・実態調査の実施
 - ・生産性運動の三原則(雇用確保、労使協議、公正配分)に則っての、各会員企業における生産性向上への取組み支援

※なお、具体的な取組みに当たっては、ワーキングチームを設置する。

(総労働時間の実態)

	段ボール産業	製造業全体	差
総実労働時間	2093h	1986h	107h
所定内労働時間	1878h	1799h	79h
所定外労働時間	215h	187h	28h
年次休暇取得日数	5.7日	10.2日	▲4.5日
年間休日日数	110.8日	116.5日	▲5.7日

出典：段ボール産業 全段連 平成25年「段ボール産業の労働時間実態調査」(平成24年度実績)
 製造業全体 厚生労働省「平成25年度就労条件総合調査結果の概況」(平成24年度実績)

【本件に関するお問い合わせ先】 全国段ボール工業組合連合会 TEL 03-3248-4851